トピックス
まちのわだい

播磨町技能職者表彰を贈呈しました
住民グループ☎079（435）2364

平成26年度播磨町技能職者表彰の表彰式が11月14日、町長室で行われました。今年の受彰者は次の方々です。

辰巳三千男さん（大中）　フラワーアレンジメント

生花販売店の創業後、独学でフラワーアレンジメントの技術を身につけ、創業以来36年の永きに渡り、地域の花屋さんとして広く親しまれておられます。経営者として、後継者の育成や自らの資質向上に取り組まれているだけでなく、地域パトロールなどの安全で安心な地域づくりにも取り組まれています。

松岡栄治さん（二子）　大工

京都の宮津建築に弟子入りされ、墨付けや刻みなど、大工の伝統的な技法を学んで腕を磨かれました。昔ながらの工法にこだわりを持たれていて、既製品を使うことなく、鉋（かんな）けずりから行っておられます。また、木材にもこだわり、自然の木を使っての仕上がりは、お客さまも大変満足されるものです。人材育成にも力を入れており、若い職人にご自身が培ってきた工法を伝え、一人前の職人になるように日々取り組んでおられます。

川﨑等さん（南大中）　木造大工

昭和42年から大工として47年間従事され、その間、親方としても18人の職人を育成され、後継者の育成にも活動されています。他の職人やお客さまからの人望も厚く、現在でも年間４～５軒の家を建てており、体の動く限り現役を続ける姿勢は、他の職人の模範となるものです。

▲表彰状を手にした川﨑さん、松岡さん、辰巳さん

瑞宝単光章危険業務従事者叙勲を受章されました

危険業務従事者叙勲は、警察官、自衛官など、著しく危険性の高い業務に精励した人を対象にする叙勲です。

里平俊広さん（北野添）

自衛官経験後、平成15年まで行動力のある警察官として奉職され、現在も地域安全のために尽力されています。

西原邦彦さん（宮北）

常に責任感を持って、主に地域課と刑事課で、約40年間奉職され、退職後も地域の安全を見守っておられます。

中尾優さん（宮西）

交番勤務を中心に約38年、地域情勢に配慮し、問題意識をもちながら、誠実に職務を遂行されました。

交通安全のつどいを実施しました
危機管理グループ☎079（435）0991

12月2日に播磨西小学校で、交通安全のつどいを実施しました。

児童や保護者の交通安全のため、佐川急便、加古川警察署にご協力をいただき、自転車の乗り方講座や、交通安全講話を通して普段の生活の中で歩行者や自転車運転者が何に気を付けたら良いかを学びました。

▲はこぶ君と学びました

実験学習の後には、兵庫県警察音楽隊による演奏を楽しみました。

県警音楽隊▶

旭日双光章叙勲を受章されました

地方自治功労により受章されました。

小西邦和さん（南大中）

播磨町文化賞を贈呈しました
生涯学習グループ☎079（435）0565

長年にわたり文化の継承と保存、また、文化団体の育成と指導に尽力され、文化の振興並びに向上発展に貢献された功績により、**藤本貴久子さん（本荘）と北林稔さん（宮北）**に播磨町文化賞を贈呈しました。

贈呈式は、11月９日に開催された播磨町文化祭の会場で行い、清水ひろ子町長から表彰状と記念品が贈られました。

▲表彰状を手にする藤本さん（左）と北林さん（右）

わんぱくはりまっこ

伊勢（いせ） 斗真（とうま）くん・かれんちゃん
（西野添）

仲良し姉弟になってね。
（パパ、ママより）

※撮影時の年齢です。

いいね！はりま
町政レポート No.95

▲渡部陽一さんとご一緒に

人類の起源を…という壮大なテーマを持って「はやぶさ２」は宇宙へと旅立っていきました。地球に帰ってくるのは2020年。東京オリンピック開催の年には、また新たな「日本の誇り」が生まれることでしょう。

◆12月7日「こころふれあう町民のつどい」講演会を開催しました。今回の講師は戦場カメラマン・ジャーナリストの渡部陽一さん。会場には多くの方々が来場され、観客は渡部さんの全身を使っての熱きトークに引き込まれました。今の日本をどう思っているかという質問には、「奇跡の国だと感じている。一つ屋根の下、家族が24時間安心して暮らせる国。日々繰り返されるあたりまえの日常は、世界ではなかなか手にすることができない。1945年から戦争をしないで、また戦争に巻き込まれないで暮らしてこられたことは奇跡…」。戦後69年、私たちはあたりまえのように享受している平和ですが、地球上の多くの国や地域では、毎日のように戦闘が起こり、子どもたちが犠牲になっています。ご本人が写された写真を前に語られる熱き「使命感」に、強く心打たれるものがありました。控室でご挨拶（あいさつ）させていただいた時にも、大変丁重な応対をしていただき、とてもやさしく温かいお人柄に感激しました。これからも世界を舞台にご無事で活躍されることをお祈りしています。

◆土山駅南でのイルミネーション(表紙)点灯式には大勢の方々がご参加いただき、それぞれが光の輪を手にしながら、冬のイベントを楽しみました。商工会と金融機関、兵庫大学のコラボで実現した企画ですが、同時期、播磨町の庁舎にも、職員が設置したイルミネーションが輝きました。冬景色の中のホットな演出は、人々の心に何かを語りかけたのではないでしょうか。

播磨町長　清水ひろ子

楽屋裏

播磨町ダイジェストのページを作るために、一年間の広報はりまを読み返し、手帳をめくって記憶をたどってみました。

平成26年も、たくさんの人とお会いすることができました。子どもたちから妖怪の名前を教わったり、中学生の言葉でハッとするようなまちの魅力に気づいたり、写真愛好家から撮ることの楽しさを教えていただいたり、何年もお見かけしなかった人の元気な姿を催し会場の模擬店に見つけたり、そんな笑顔になれた場面をたくさん思い出します。

出会いに感謝します。新年も、皆さんに伝わる広報紙を作るために、たくさんの人と出会いたいと思います。（宮）